


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立盲学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	参加者 京都府立盲学校 幼小中学部 児童生徒 7名 本校職員 幼小中学部教員 11名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(特別活動)
4 目標 (ねらい)	視覚障害のある児童生徒がボッチャという競技スポーツの体験 とおして、チームスポーツを楽しみ、生涯スポーツとして、仲間と 共に活動することを楽しむ。
5 取組内容	(1) 令和3年11月10日(水) 講師：平木新助氏(京都ボッチャ協会) ボッチャ競技の説明を聞き、道具などの使い方を知り、実 際に体験する。 ① ボールを投げる練習 ア ボールの種類について イ ボールを転がすこと ウ ボールを投げること エ 投げたボールの位置を鈴の音で確認し、2投目を投げる 位置を確認する。 ② ルール説明について ア 投げたボールの位置を触察し、ボールの位置関係で勝敗 が決まることを知る。 イ 測定は審判が行い、投げる順番も審判が説明することを 伝える。 ウ 鈴などで、ジャックボールの位置を知らせる支援をする。  (2) 令和3年11月24日(水) ボッチャの試合を通して、チームでの協力や試合を楽しむ ことを体験する。

	<p>① 試合形式の練習でルールを確認する。 ア チームに分かれ、試合形式の練習を行う。 イ 投げたボールの位置を鈴の音等で確認し、2投目を投げる位置を確認する。</p> <p>② 試合形式の体験 ア 試合形式で対戦し、ゲームの楽しさを知る。 イ ボールの位置を触察し、作戦を考える。</p> 
6 主な成果	<p>(1) パラリンピック種目であるボッチャ競技を体験することで、パラリンピック種目の理解を深めることができた。</p> <p>(2) ボールを投げる位置などの難しさをいろいろな手立てで工夫しチームで協力して競技を楽しめることができた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>(1) ボールの投げる位置などを鈴や点滅ライトで誘導し、ねらいがつけやすくなるように工夫し支援した。またIpadでボールの配置を拡大してよりわかりやすくなるように支援した。</p> <p>(2) 1回目には、ボールの投げ方など基本的なことを中心に自分たちでもうまくできるという体験し、2回目に試合形式でのゲームに取り組み、参加する楽しみを感じ取れるように工夫した。</p>
8 主な課題等	<p>(1) 今後、地域にある大会等に参加できるように支援し、スポーツを通しての共生社会を推し進めていきたい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>(1) 地域の小中学校と連携し、交流を深めていく取り組みができないかと検討する。</p>